

分科会開催報告書

報告日 令和6年9月25日（水）	報告者 西村康枝
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第187回浮雲俳句会
開催日時 令和6年9月22日（日） 午前10時～12時	開催場所 いきいきセンター 晴嵐かなざわ
参加人数 浮雲俳句会会員 14名	

実施内容

第187回例会は兼題「秋彼岸」の1句、当季雑詠3句、合計4句。

最初に係より10月の吟行会の資料配布と説明あり。

句会は二祥会員による選句の披講後、会員各々が選んだ特選句の選評。

月当番による合評後、意見・質問・添削等活発な意見交換がなされた。

「添削・推敲チェックシート」「俳句作句のあれこれ④「促音・拗音・撥音・長音」について学習。

全会員により、特選句9句を選ぶ。

句会終了後、役員会を開き、当会（浮雲俳句会）創立20周年（令和8年）記念事業を行う事決定。
記念句集・記念吟行会の提案あり、今後の検討課題とする。

特選句

鯉飛ぶや一番星の舟溜まり	二 祥
空澄むや水琴窟の音も澄みて	あきえ
老木のお洒落はじめや薄紅葉	とも女
托鉢の青き頭頂へ初紅葉	三 旦
季の移り見えないままの秋彼岸	十 九
苦は底に沈めて澄める秋の水	十 九
堂裏に集（すだ）きて深し虫の闇	二 祥
鯉雲波間より吐く鳥の群	和 女
鮭遡上むくむくと川盛り上がる	一 梶

次回の予定

令和6年10月27日（日） 午前10時～午後2時50分

第188回 吟行会は、富岡並木地区センター 投句は2句 披講 二点会員